

特集 Physical examination 身体所見を学び、経験を重ね診療に活かす

企画・構成／室生 卓

診る

- Physical examinationからわかること
 - 問診
 - 視診
 - 触診
 - 聴診
- Expertise** 身体所見での心タンポナーデと収縮性心膜炎の鑑別法

識る

- Physical examinationから病態に迫る
 - 不整脈
 - 心筋症
 - 弁膜症
 - 血管病
- Expertise** 心不全のトリアージ

治す

- Physical examinationから治療方針を決める
 - 初診外来
 - 慢性疾患外来
 - 救急外来
 - ICU, CCU
- Expertise** 在宅診療

バックナンバー

Back Number

2020年10月号 循環器疾患バイオマーカー 有用性と可能性

企画・構成／鈴木 亨

診る

- 循環器疾患が疑われる患者でどのようにバイオマーカーを測定すべきか？
相澤健一、鈴木 亨
- 循環器系マルチバイオマーカー・ストラテジーとは何か、どう使うか？ 佐藤直樹
- 欧米のエビデンスに基づいた心不全ガイドラインは日本人に当てはまるか？
ーバイオマーカーを中心にー 永井利幸、安齊俊久
- 急性冠症候群ガイドラインにおける心筋トロポニンはどう使うべきか？ 井上健司
- 大動脈解離はバイオマーカーで診断できるか 藤田大司

識る

- 心不全パンデミックを防ぐためにはバイオマーカーをどう使うか？
緒川真太郎、筒井裕之
- 高血圧のゲノム解析はどのように行われるのか？ 加藤規弘
- 微小血管狭心症のバイオマーカーにはどんなものがあるか？ 井高橋 潤、下川宏明

- [Expertise] GDF-15は心不全およびACSの予後予測バイオマーカーとして
どれほど有用か？ 根岸経太
- [Expertise] IgG4は冠動脈疾患のバイオマーカーになるか？ 坂本愛子
- 新しいバイオマーカーはどう開発するか？
新規大動脈瘤バイオマーカーの探索 南野直人、村上裕輔、錦織充広

治す

- DNA損傷評価に基づく拡張型心筋症患者の精密医療 候 聡志
- 腸内細菌叢由来代謝物は循環器疾患バイオマーカーおよび治療標的になるか？ 矢野義行
- HFpEFとHFrEFの病態生理と治療法の違いはバイオマーカーで説明可能か？ 高濱博幸

〈連載〉英語による自信もてる学会発表の技術 プレゼンテーションの方法からパワポの作り方まで
Presentationの極意 よいプレゼンとは？
心臓血管研究所 山下武志所長に直撃インタビュー 上嶋徳久、加藤祐子

2020年11月号 アミロイドーシス

企画・構成／佐野元昭

診る

- 心アミロイドーシスを疑う所見
 - 病歴、症状、身体所見、採血所見 高潮征爾、辻田賢一
 - 画像診断所見(心電図、心エコー、心臓MRI/CT、核医学検査) 小山 潤
 - 生検、免疫染色、質量分析 猪又孝元
- [Expertise] 心アミロイドーシス診療における^{99m}Tcピロリン酸シンチグラフィの位置づけ
田原宣広、緒方詔子、戸次宗久、秋山陽一、本多亮博、福本義弘

識る

- アミロイドーシスの概念・分類 越智友梨、北岡裕章
- ALアミロイドーシスにおける新たな潮流 塚田信弘

- 心不全に潜在するATTRwtアミロイドーシスをどのように診断するのか？
石川裕敏、泉家康宏
- ATTRvアミロイドーシス 植田光晴
- [Expertise] アミロイドーシスの診断基準 内木宏延

治す

- 心アミロイドーシスの治療
 - 総論(心不全、不整脈、血栓塞栓症に対する治療) 宮本真和、中村一文
 - ALアミロイドーシスに対する治療 新規薬剤の可能性 野村 萌、鈴木憲史
 - ATTRv, ATTRwtに対する治療 関島良樹
- [Expertise] 心アミロイドーシス診療アルゴリズム 遠藤 仁

2020年12月号 超高齢者循環器診療の術 ー先生のお悩みはなんですか？ー

企画・構成／原田和昌

診る

- 治療につながる老人性アミロイドーシス(野生型トランスサイレチンアミロイドーシス)の早期診断はどうすればいいかー野生型トランスサイレチンアミロイドーシスの診断のアルゴリズムと治療薬タファミジス(ビンダケル®)に関する医療経済面も含めてー 佐野元昭
- CKD合併急性心不全ではうっ血とWRFのどちらを重視するか？ 森 建文
- 心不全の貧血はどう治療する？ 加賀谷 豊
- 認知症と循環器病の深い関係 猪原匡史
- がんを合併した循環器疾患について知っておくべきこと 石田純一

識る

- CKDが循環器疾患を引き起こす機序は？ 機序に基づく治療は？
常喜信彦、田中友里

- 超高齢者循環器疾患患者のポリファーマシーの対応 小島太郎、秋下雅弘

治す

- 超高齢者に多いHFpEFの薬物治療は？ 今村輝彦
- 超高齢心不全患者に対するGDMTは何歳まで行うべきか？ 吉川 勉
- 生命予後とADLのどちらを重視すべきか、在宅ではどうすべきか？
[Expertise] TAVIは何歳まで行う？ 超高齢者に対するTAVIの適応 小張祐介、林田健太郎
- 超高齢者の心房細動で抗血栓治療を中止することができるか？ 岡田 靖、矢坂正弘
- [Expertise] 機能性MRのMitra Clip®後の薬物治療はどうあるべきか？ 片岡明久